

ベトナム『文化交流プログラム』レポート



Hondaのベトナム現地法人であるホンダベトナムカンパニー・リミテッドが主催する「Honda エコ マイレッジ チャレンジ ベトナム大会」は今年で開催9回目を迎えました。昨年に続き日本のトップチームを招待し、「Honda エコ マイレッジ チャレンジ 文化交流プログラム」を実施。「言葉が通じない」「レギュレーションが違う」といった環境下でどのような体験をしたかお伝えします。

文化交流プログラム参加チーム
2016年よりスタートした、グループ11優勝チームが招待される本プログラム。今年は2017年優勝チームである「千葉県立下総高等学校自動車部」にご参加いただきました。



ベトナムのエネルギーをすく感じました！



無事完走！走行後は現地チームと交流しました

競技会場へ到着した一行。
無事に届いたマシンに安心したのもつかの間、現地の大学生に囲まれる中での作業でしたが緊張もなく落ち着いた様子で準備する部長の田中くん。



マシンがベトナムに無事に届いて安心！

迎えた練習走行日。
ベトナム大会は日本の大会とエンジンの規格が違うだけで、燃費の良さを競うという趣旨は同じです。市街地を会場とした特設コースを今回参加する168チームが時間差をつけて走行します。日本の大会にはない光景ですが、開会式の中でペナントを主催者代表の方から全参加チームに手渡しされ、その際の異様な盛り上がりは**ベトナムのエネルギー**を感じさせるものでした。練習走行の結果としては、無事に完走できましたがバタバタした中での出走で心の準備ができていなかったのか、強心臓のはずのドライバー田中くんにも動揺があったようで、まったく満足できるものではありませんでした。



いよいよ決勝日。
一番出走で9時スタート予定が3分前にフラッグが振られるアクシデント！そんな中でのスタートでしたが、周りのサポートもあり、落ち着いたドライビングで無事に競技を終えることができました。
昨日の記録よりもだいぶ燃費が伸び、一般道を封鎖して作った特設コースでの記録としてはまずまずの1700km/ℓほどの記録を出せました。
走行後には現地チームからの質疑応答や記念撮影の申し出もあり**多くの方々と交流**することができました。

ベトナム REPORT

ベトナム語は？
数ある言語の中で最も発音が難しいと言われるベトナム語。簡単な挨拶程度はベトナム語で話したいという思いから発音の練習をしてきました。現地チームとの交流の中で日本で練習してきた英語で自己紹介とベトナム語での挨拶を行い、大きな拍手をいただけました。



食事は？
日本より物価の安いベトナム。値段の安さとマンゴージュースのおいしさに感動していました。「マンゴージュースは濃厚でおいしかった。濃すぎてストローが立つんですよ。」と言う水上新くんですが、パクチーを使った料理は香りが強くて口に合わなかったようです。

文化は？
ホー・チ・ミン廟というベトナム建国の父と呼ばれるホー・チ・ミン氏のお墓を見学したり、中国統治時代の古い史跡等を見学するだけではなく、市場周辺の問屋街を散策して現地の人たちの暮らしに感じる経験もしました。部員たちが一番驚いたのはその交通事情でした。すさまじい数のオートバイが、そこそ縦横無尽に道路を駆け抜けていく中(日本では考えられない習慣)、地元民はスイスイと道路を横断し、それを当たり前のようにオートバイが避けていきます。



Honda Eco Mileage Challenge Official Newspaper

EMC NEWS

2018

HONDA
The Power of Dreams



君はガソリン1リットルで日本一周できるか？



本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2018 第38回 全国大会

【開催日】2018年9月29日(土)決勝/9月30日(日)中止
【燃料密度】0.744(2018年9月29日 午前9時50分時点)
【会場】ツインリンクもてぎ「スーパースピードウェイ」
【天候】雨/気温21.5°C(2018年9月29日 午前9時50分時点)

“本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2018 第38回全国大会”には、今年も全国各地の中学校や高等学校、大学、短大、高専、専門学校、社会人の合計356チームがエントリーして、創造力と技術を競いました。海外からは、タイ、中国、ベトナムの3カ国から9チームがニューチャレンジクラスに参加。大会当日は、台風の影響による荒天が予想されたため練習走行日を決勝として開催されました。そのような悪天候の中、ニューチャレンジクラスで出場したタイの「PANJAVIDHYA」が、全クラスで最高燃費となる3056.121km/ℓで優勝するとともに、海外チームとしては史上初、全クラス総合の最高記録を樹立したチームに与えられる“最優秀賞 本田宗一郎杯”を受賞しました。

フォトレポート

大会当日の様子をご紹介します！



Check! 『Honda エコ マイレッジ チャレンジ』って、どんな大会??

- テーマはシンプル
1リットルのガソリンでどれくらい走れるのか?
- 歴史ある大会!
今年で第38回目
- 海外でも開催!
タイ・中国・ベトナムでも実施される国際大会!

現在の最高距離
3644.869KM
目指せ!
ガソリン1ℓで日本1周!

Honda エコ マイレッジ チャレンジは、限りあるガソリンの有用性を考え「1リットルのガソリンでどれくらい走れるのか?」をテーマとし、自由な発想であらゆる可能性にチャレンジする燃費競技大会です。規定周回数(距離)を決められた時間の中で走行し、燃料消費量から燃費を算出。燃費性能の高さを競います。全国各地の中学校や高等学校、大学、短大、高専、専門学校のチームが毎年多数参加しています。

ニューチャレンジクラス 優勝



PANJAVIDHYA (タイ)

記録 3056.121km/ℓ

コメント

この度、本田宗一郎杯のNCクラスで優勝する事ができ非常にうれしく思います。チームとしてEMCを始めてから20年になります...



2人乗りクラス 優勝

栃木県立矢板高等学校 C (栃木県)

記録 684.752km/ℓ

台風接近の中、大会が開催されて嬉しく思います。2人乗りで、1000km/ℓを目指していましたが、残念ながら記録を伸ばすことは出来ませんでした...



二輪車クラス 優勝

Team濃青of有明高専 (福岡県)

記録 293.015km/ℓ

2016年大会で2位の記録がえられたものの時間調整を誤ってしまい幻の初出場準備優勝となりました。今回その雪辱が果たせて感無量です。



グループ I (中学生クラス) 優勝&ステップアップ賞

芝学園技術工作部2号車 (東京都)

記録 809.152km/ℓ (前年比+402.020km/ℓ)

中学3年生中心のチームで1位をいただけてうれしいです。この勝利は先生方、保護者の方のサポートあってのことです。次大会では1000km/ℓ越え、そして高校クラスでの入賞を目指し精進します。



グループ II (高校生クラス) 優勝

千葉県立下総高等学校自動車部B (千葉県)

記録 2120.682km/ℓ

台風の影響で急遽1日開催となりましたが、なんとかミスなくレースを終えました。全国大会に至るまでにトラブルが多発していたので、気を引き締めて大会に臨んだおかげだと思います。



新人賞 (グループ I)

白梅学園清修中学校エコランチーム (東京都)

記録 248.602km/ℓ

学年全員で技術の授業で製作した車両を使用して初出場しました。今回の目標は完走。何も分らない中、そしてほとんど練習走行もできずに本番を迎えましたが、日頃のチームワークを發揮して完走した上に、このような賞をいただくことができました。



新人賞 (グループ II)

小田原城北工業高校課題研究 (神奈川県)

記録 800.651km/ℓ

3年生の課題研究で参加したチームです。どうしても車両を作りたくて自動車部の協力で作りました。新人賞をもらえるとは...夢のようです! 良い経験が出来ました。ありがとうございました。



グループ III (大学・短大・高専・専門学校生クラス) 優勝

八戸高専自動車工学部NP号IV (青森県)

記録 1674.989km/ℓ

全国大会出発前日の朝に重要なエンジン部品が大破して、エンジンの分解・洗浄・組立・確認運転が終わったのは午後6時半頃、そんなマシが優勝するとは夢にも思っていませんでした。来年度こそは長年の目標である2000km/ℓを突破したいものです。



グループ IV (一般クラス) 優勝

富士エコラン・チーム白糸 (静岡県)

記録 2349.503km/ℓ

今回は悪天候の中、一回限りのチャレンジでしたが何とか記録を残す事ができました。製作から20年を超える老兵ですが、これからも真の燃費記録を求めて参戦します。



ステップアップ賞 (グループ II)

真岡工業高校機械研究部A (栃木県)

記録 977.861km/ℓ (前年比+539.105km/ℓ)

大会当日は、悪天候の中での走行で調整がうまくいかず、納得いくまでできなかったのですが、昨年度の先輩方より大きく記録を伸ばすことができてすごく嬉しかったです。



デザイン賞

あきる野市立東中学校OB-OG (東京都)

選考理由 前一年の難しいレイアウトを美しいデザインにまとめた。尚且つ、オリジナリティがある。

前輪がひとつという特徴的なデザインで、ボディをコンパクトにすることで空気抵抗を減らしました。塗装にはパールをいれて、細いところまでキレイに仕上げました。デザイン賞をとれて嬉しいです!



ステップアップ賞 (グループ III)

神奈川県立産業技術短期大学校α (神奈川県)

記録 591.077km/ℓ (前年比+337.903km/ℓ)

ボディをFRP素材からカーボンへ作り変え、ボディ重量が半分以下に。さらにエンジンを変更し昨年と比べ大幅に加工を行いました。今年度で上位入賞できなかった事は残念ですが、来年はさらなる躍進ができるよう頑張ります。



第38回 全国大会の賞典について

Table with columns: 賞名, 対象, 基準. Lists awards like '各クラス別入賞1~3位', '最優秀賞 本田宗一郎杯', etc.

出場チーム リザルト一覧

Table listing results for Group I and Group II, including team names, fuel consumption, and rankings.

Table listing results for Group III and Group IV, including team names, fuel consumption, and rankings.